

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2015

77 No. 651

November



組合員が主人公の農協運営めざし

各地区で一斉に集落常会

(写真は10月28日開催の行広・梶ヶ原集落)

生産者と消費者、地域の方々と交流

第59回農協まつり開催

代表理事組合長 矢崎 和廣



11月8日(日)、下郷小学

校グラウンドで「守ろう食と農！くつなげよう次世代へ平和な日本・ふる郷を」を祭のテーマに掲げ、第59回下郷農協まつりを開催しました。

今年は4年ぶりの晴天に恵まれ、組合員をはじめ多くの産直消費者・地域の方々の来場でたいへんにぎわいました。毎年のことながら、会場設営から片づけまで、組合員と役員一体となって頑張っている姿に多くの方々が関心してくださいます。

まつり開催にご協力いただき

きました関係者の皆さまに心から厚くお礼申し上げます。

(開会式での組合長のあいさつを全文紹介します)

ご来場の皆さん、おはようございます。

第59回下郷農協まつりを開催するにあたり、主催者を代表して一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

3年続きの雨で、関係者の誰もが天気のことを一番心配していたと思いますが、その想いが通じて晴天となりました。そして、59回目となる下郷農協まつりが今年も無事に開催されますことを皆様方と喜び合いたいと思います。併せて、これまで準備に奮闘されました組合員、関係者のみなさまに感謝申し上げます。あ

りがとうございました。

また、本日は公私ともご多忙の中にも関わらず、大分県北部振興局より小野振興局長様、中津市より、中津市耶馬溪支所泉支所長様、中津市議会より、建設農林水産委員長の須賀議員、三上議員ほか産直消費者、地域の代表者、そして系統組織の方々など県内外から多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠に有り難く感謝申し上げます。

さて、国会では私たちの生活や環境の事を全く考えない、そして農業・農協潰しの安倍政権の暴走が止まりません。8月28日、農協改革のためとして、約60年ぶりに農協法が改正されました。

また、6月の下郷農協通常総会において出席者全員で採択された「戦争法案の廃案を求めると特別決議」「TPP交渉からの即時撤退を求めると特別決議」も戦争法案は9月19日に強行採決され、TPPは10月6日大筋合意されました。特に政府は、農協改革の目

的を「農協の販売力を強化して農業所得の向上を図る」と言いますが、全中の監査を公認会計士監査としたり、全農の株式会社化、准組合員規制等、農家の所得向上の取組を推進する事と何も繋がりません。本日の目的は①結集力を削いでTPP反対運動を封じ込める②農協を大資本との市場競争に投げ入れ、総合事業を弱体化させ家族農業を一層窮地に追い込むことであり、販売力強化ではなくて弱体化が目的なのです。

そういった意味では、規制改革、農業・農協改革とTPPは表裏一体であり、郵政民営化の時のように「農協解体」の目指すところは信用、共済の巨額のお金であり、農産物や肥料・農薬などのマーケットに関わる大企業、そして農業に企業参入したいコンビニやスーパーなど企業のビジネスチャンスのために進んでいるのです。

さらに怖いのは、マスコミなどもTPPで安い食品が入

ってくるのだから消費者にとってもメリットであると言えます。

しかし、その裏には今まで認められていなかった食品添加物の使用や、厳しく規制していた残留農薬基準や遺伝子組み換え表示義務などが大幅に緩和・見直される事になり、価格は安くても、自分の体の中に入れる食べ物なのにどれだけ危険な、怖い食べ物を食べているのか、どうやって作っているのか分からない時代が来ます。

人の命と健康、暮らし、環境を犠牲にしても企業の利益を優先する、それがTPPなのです。

また、TPPと同じく恐ろしいのが戦争法案です。この法案は、憲法が禁止している「集団的自衛権」を認めており、日本が攻撃されていなくても自衛隊が海外で武力行使でき、その判断も時の政権が決めるという怖いものです。

いつでも、どこでも、どんな戦争でもアメリカの戦争に

自衛隊が参戦、支援する事で、そうなれば自衛隊も攻撃され、攻撃されれば武器を使用します。本当に昔のような殺し殺される戦争が起こる事になります。

TPPも戦争法案も多くの国民が反対や慎重に審議し、中身をもっと知らせてほしいという中で強行されました。

そのような中だからこそ、今年の祭のテーマは『守ろう食と農！つなげよう次世代へ平和な日本・ふる郷を』としました。

下郷農協は、これからもTPPに反対し、農業が地域コミュニティの基盤を作っている事を実感し、食べ物が身近で手に入る価値を共有し、その基本は家族農業である事を認識し、その要求でつながる多くの消費者と提携して地域農業、安全・安心な食べ物を守っていきます。そしてそれは平和である事が前提であり、戦争法案に反対し、組合員が安心して農畜産物の生産に励み、農業を守り、農協を

発展させ、地域のお役に立ち、次世代の子ども達に平和なふる郷を守りつなげていきたいという想いを込めたテーマとしました。

農協まつりは、収穫を喜び、厳しい中でもみんな元気を出して乗り越えようと開催されたのが始まりです。

農業情勢が厳しい中、小さな農協が単独でやっていくリスクは非常に大きいですが、組合員と役員が一丸となつて、なんとか乗り越えていかなければと思っています。

今年3月22日、下郷農協は、合併せず農協本来の役割を發揮するため、全国初の「信用事業譲渡」をしました。

まだまだ始まったばかりですが、この事が農協を維持・発展して行くため大きな転機となったと言われるように、しっかりと農協事業、農協運動に邁進していきたいと思えます。

終わりになりますが、今年も農協女性部をはじめ各生産組織や産直消費者団体の安

心・安全な農畜産物を使った食堂やお店が沢山出店しています。ステージでのイベントもいろんな方々のご協力を頂き、お楽しみ頂けることと思います。毎年、経費を使つた大きなまつりは出来ませんが、生産組合、農協役員が日頃のご利用に感謝し、心を込めて準備したまつりになったと思えます。

今日一日はご来場の皆様の笑顔と笑いが絶えない一日になり、来年の60回農協祭りに繋がる事を祈念し、開会にあたっての挨拶とします。皆さん、今日はお時間が許す限り祭を楽しんでください。そして、生産組合をはじめ出店にご協力いただいた皆さん、関係者の皆さん、大変でしょうがどうか一日よろしくお願ひ致します。

これで挨拶を終わります。ありがとうございます。

お祭の様子は次号で紹介
します。

こんにちは！ デイケア元気村です

子ども達の慰問

10月22日に柿坂保育園の3歳児から6歳児の皆さんが元気村に慰問に来てくれました。

元気いっぱい之歌や踊りを披露してくれ、利用者様も嬉しそうに見られていました。

一緒に手遊びをしたり、抱きしめたり、園児たちとの交流を楽しまれていました。



活気あふれる運動会

10月のお楽しみレクリエーションは運動会でした。障害物競走では帽子やダンベルなど色々な障害物を回し、紅白のチーム戦。綱引きは赤と白の紐を同時に引つ張り、どちらが長く引つ張れるかを競いました。

勝負になると皆さん真剣な表情になり、活気のある運動会になりました。

山崎牧場・吉岡さんの「くるみ号」

第76回県畜産共進会「肉用牛の部」で優良賞

10月24日、別府市野口原の別府公園で開催された、第76回県畜産共進会には、県内各地区を代表して雌牛67頭が出品され、牛の年齢などに分けた6区分でそれぞれ審査が行われました。

県北地域畜産品評会で代表として選ばれた、鎌城地区の山崎牧場・吉岡恭次さん出品の「くるみ号」は、第5区 女性・後継者の部（出品11頭）で優良賞を受賞しました。

県畜産共進会は、県農林水産祭実行委員会と県畜産協会、J

A全農大分県本部が主催し、下郷農協も耶馬溪黒豚やおおいた冠地どりの炭火焼き等で毎年出店している県農林水産祭の農・林業部門に合わせて開催されています。

今回、県北代表として「くるみ号」を出品する事となった山崎牧場の吉岡恭次さんは、上位受賞経験者や地域の先輩生産者などにアドバイスを受け、給餌内容の工夫や体積が豊かで肉付均等な体型をめざし耕地での歩行運動などを行い大会に備えてきました。

優良賞を受賞した吉岡さんは、「出品にあたり、たくさんの方々にご協力いただきました。今回の経験はこれからの和牛生産に大変よい勉強となりました。更なる上位受賞をめざして、これからも頑張りたい。」と話していました。

今後、若い地域の後継者と一緒に切磋琢磨しながら、生産に励んでもらいたいと思います。受賞おめでとうございました。

「認知症サポーター養成講座」を開催

10月17日、下郷農協女性部は「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

女性部員が組合員や地域の方を誘い、16名が受講しました。研修会では講師のJA大分中央会の椎原さんより、農協（JA）がサポーター養成に取り組み意義や、高齢化社会の状況などが最初に話されました。

それから認知症の基礎知識の講習と認知症の方への対応につ

いてDVDを見ながら話し合いました。

「認知症は治らないのか」という質問には講師の椎原さんより「認知症の元になっていく病気の種類によっては治る可能性もある」「アルツハイマー型認知症は薬によって進行を遅らせる事ができる」ことが話されました。

また「認知症と思われる人を見かけたらどう対処したら良いか」という質問には、農協の玉麻涼子さんより「耶馬溪町の場合は地域包括ケアセンターがやすらぎ荘の中にあるので、それぞれに連絡をしたら対応してくれる」との回答がありました。

「誰もが認知症になる可能性がある」事を忘れずに、認知症の方にも独立した一個人として接する事が大切だと思えました。参加者の皆さんからも「色々勉強になって良かったです。」との言葉がありました。



実りの秋・耶馬溪を満喫

産直消費者が稲刈り体験で交流

圃場の裏で「焼き芋」の収穫



10月25日、さわやかな秋晴れの下、北九州市の「NPO法人・小さいおうち共同保育園」の園児とその家族44名が、稲刈り体験や生産者とのバーベキュー交流、耶馬溪観光で実りの秋・耶馬溪を満喫しました。

この交流は、合鴨を使って無農薬栽培に取り組む「下郷合鴨愛好会」の稲作農家や地域の方々の協力で毎年行われていきます。

6月に自分たちが苗を植え、



コンバインで稲こぎ(脱穀)を体験した子どもたち

その後アイガモさんがすっかり草取り（雑草を食べて）、立派に実った稲をみんなで一株ずつ丁寧に刈り取っていきました。

作業の後は、刈り取った圃場で下郷農協の食材を使ったバーベキューで昼食、その横では予め刈り終え乾燥した藁を寄せ集め、無農薬栽培のさつまいもの中にに入れての「焼き芋」を楽しみました。

主催した生産者の山崎和美さんは、「12月には生産者が北九州市に行って、消費者といっしょに作ったモチ米で餅つき交流を楽しみたい」と、次の交流企画構想を語っていました。

(f)



さわやかな秋晴れの下、田んぼでバーベキュー

下郷農協 NEW フェイス!! No.②

本年度(平成27年)4月から下郷農協で働く新人さんを順次紹介します!!

☆久保 洋佑さん☆

- 1、所属部署……………農産・惣菜加工部
- 2、出身地……………宇佐市
- 3、好きな歌手……特にありません。
- 4、マイブーム……特にありません。
- 5、組合員へ一言…宜しくお願い致します。



☆益永 文雄さん☆

- 1、所属部署……………牛乳加工部
- 2、出身地……………岡山県倉敷市
(現在は山国町に住んでいます)
- 3、好きな歌手……THE RICECOOKERS
- 4、マイブーム……エグスプロージョン(吉本興業芸人)
- 5、組合員へ一言…牛乳工場の冷蔵庫にいます。宜しくお願い致します。



青女部日記

10月17日、青女部(下郷農協青年女性部)が、さつま芋を掘りました。

5月下旬にツルを植え約5か月、とても大きな芋ができました。

さつま芋には追肥をしないということから、植えてからの作業と言えば草取りです。業務終了後、畑に行って草を取りました。

当日は汗ばむほどのお天気で、最初にツルを切り取る作業からスタートし、マルチをはがし掘りやすくしました。次に芋ほりです。土がかたくてなかなか掘れず、スコップや鍬を使い掘りました。土の中からさつま芋が見えたら「出てきたー」と部員同士声をかけながら作業をしました。

他にも、人参・キャベツ・生姜・かぼちゃを畑で育てています。青女部で作った野菜は「ふれ

あいの店」にて販売します。

これからも畑作業を頑張っていきます。



鎌城開拓の歴史(つづき)

五、開拓者たちは山浦・並石から鎌城の台地へ

「次の日、目的地の鎌城台地へ。登り口の並石(「なめし」と読む)の絶壁の岩、長野県では見られない光景であり、岩肌の独特の匂いに九州に来たのだと実感した」(『河合回想録』より抜粋)。

私は、今はもう通る人もないであろうこの並石から鎌城への山道を登ってみることにしました。山浦の林家家で有機茶の生産者でもある田代和芳さんに並石への行き方を尋ねると、道案内をしてくださることに、田代さんによれば「斜面に倒れ掛るように



並石の並ぶ石

大きな石が二つ並び、石を取り囲むように大木が茂る。その隙間を山からの水が流れ、かつては石の下に「いご」(小さな池)があった。この聖地こそが「並石」という地名の由来だ」とのことでした。並石は、光円寺から山浦集落を過ぎて2kmほど山へ入ったところがあり、かつては農家が2軒あったそうですが、現在は有機茶畑が広がっています。

「今では何百メートルまでも見通しが利くが、当時はくぬぎ林の下は笹が生えており、地元の人話によると、鎌城はキツネにだまされる所とか道に迷わないようにくぬぎの木の皮を削り、目印を作りながら遠山さんの入口まで行って引き返す。こんなところに住みつくことができるのかと不安になった。並石の井上年夫さんの住宅の後ろに作業小屋と風呂が残っており、そこを借りることになる。一人1万円の出資で共同に必要な鍋釜などを準備する。以後40日余り男所帯の生活が始まる」(『河合回想録』より)。

先遣隊は並石の小屋に泊り込み、本隊受け入れのため山の途中の出荷されずに残って



並石から登る途中の沢

いた細い杉を担ぎあげ、鎌城に共同宿舎を建てます。

さて、私は田代さんに並石から鎌城への山道を教えていただき、一人で登ってみることにしました。かすかに道らしき道があったり、途切れたりしたりして不安がよぎります。さらに倒木が行く手をさえぎる「台風19号(1991・平成3年)で倒れたままなのだろうか。道がわからずに引き返すことなど恥ずかしくてできない」などと独り言を言いながら歩くこと約30分、やっと鎌城らしき風景が広がってきました。分かれ道をまっすぐ進むと鎌城の池(開拓者たちは「堤」と呼ぶ)に出ました。戻って左へ行くと、かつて開拓者たちの共同宿舎があったという脇坂さんの肥育牛舎の近くにたどりつくことが

できました。

六、一年間におよぶ男所帯の共同生活

1952年(昭和27年)5月10日に長野県から本隊が到着し、男22名の約1年におよぶ共同生活が始まりました。開拓者たちは先述の山道を何度も何度も往復し、22戸の家を建てるために、全ての木材を肩送りで運び上げることに なります。

「一日の作業を終えて宿舎に戻った時、良いにおいがしていた。ここに来て食べたことのない肉入りの飯に皆うまそうに食べた。この肉は何の肉かと：

「猫の肉」と聞いてつばを吐き出したが、腹に入ったものは出なかった。(河合さんは「ニャンライス」と名付けている)」「27年の終わりに共同生活も終わりをつけた。現地入りした時の不安な気持ちも1年間同じ釜の飯を食べべて共同生活をするうち、小林敬一さん(先遣隊長)、伊原正二さん(鎌城開拓農協組合長)の指導のもとに共同の精神が養われ、先の希望が持てるようになり、難問題を乗り越えることができようになった」(『河合回想録』より)。

独自の買入価格で集荷量アップ

美味しい下郷の米を消費者へ

10月15日、下郷農協管内の平成27年産米品位格付け検査が、下郷倉庫で本格的に始まりました。

今年産米は、前半の悪天候な

どの影響でやや充実不足粒が目

立つ一方、カメムシ

等による被害粒が昨

年に比べ大幅に減少、

組合員の供出（出

荷）状況も慣行栽培

米を中心に大幅な伸

びを示していて、早

生品種に続いて11月

の米検査にかけて晩

生品種の高品質米受

け入れが期待されま

す。

検査にあたった指

導販売部米担当の松

岡主任は、「下郷農

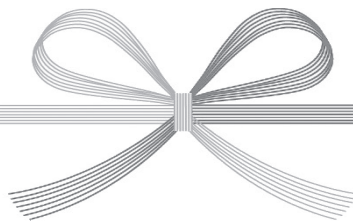
協独自の米買入価格



ベテラン検査員（左）からアドバイスを受けながら抽出品を鑑定する若手検査員

設定で、組合員からの出荷も増えつつある。厳格な品位格付けを行って、産直消費者に美味しい下郷のお米をたくさん届けたい。」と話していました。

2015年 冬ギフト



(お歳暮)はじまりました。



安心・安全を親しいあの方へ送りませんか？



お問合せ 0120-56-2229 (フリーダイヤル)
FAX 0979-56-2889 24時間受け付け

「ふれあいの店」にてご購入の方のお問い合わせは0979-56-2225までお願いします。

理事会だより

10月27日、第7回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項：第27回JA全国大会参加について

雲與橋架け替え工事について

第一号議案：9月決算承認の件について

報告事項の第27回JA全国大会参加については、10月14・15日東京で行われた同大会にJAグループ大分の代表の一員として下郷農協組合長が出席、開催内容の報告が行われました。雲與橋架け替え工事については、先般、工事受注業者より床上浸水対策特別緊急工事として実施される旨の説明を受けた事が報告され、新橋完成まで長期間通行止めとなるため、農協事業（特に購買部門等）への影響について対策等検討する事としました。

第一号議案の9月決算承認の件については、事業利益△182千円の計画に対し△7,572千円で、7,390千円の未達となりました。

事業利益は計画対比で、収益部門のうち戻入益見込含の貸付3,106千円・購買1,892千円、共済858千円等が達成、惣菜3,387千円・診療所2,599千円・食肉2,051千円・6,374千円利益計上の牛乳1,329千円・販売770千円等が未達成となりました。

その他事項では、第59回下郷農協まつりの取り組み状況、中津市農業委員会報告、7月集落常会組合員意見の回答、中津市物産市（2016年1月15～17日・福岡市）への参加、企画部長退職に伴う体制変更等について示されました。

討 報

10月27日

下郷農協前組合長

横山 金也氏

が永眠されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

人事異動

(退職)

10月31日付で、

増谷 文香（企画部）

が、一身上の都合により退職しました。（11月1日より松本参事が企画部部長を兼務）

訂正とお詫び

先月号のインフルエンザの価格を間違えていました。

正しくは

6カ月以上12歳未満

2,100円

訂正してお詫び申し上げます。

「ふれあいの店」より

日替り奉仕日!!

月曜日：牛乳

火曜日：鮮魚

水曜日：豆腐

金曜日：冠地どり

直通 TEL0979-56-2225

清水先生の

「食の安心」について

一言

の記事は先生が病氣療養のため当分の間お休みさせていただきます。

お便り募集!!

中津市耶馬溪町

大字大島二一五一四

下郷農協 農協新聞係宛

またはメールで、

kikaku-3@simogonokyou.or.jp

産直消費者の方からお便りが届きました。

「いつもお世話になっております。先日は当選者商品を送って下さりましてありがとうございます。私には下郷さんとは昭和51年からの御縁で本当に感謝しております。8月で88歳(満)になりましたが皆様からは若いといわれております。これもずっと下郷商品を頂いているお蔭と思っております。ありがとうございます。」

久留米市 上野 都代子 様

お便りありがとうございました。
約40年という長いお付き合いありがとうございます。
「たまごアレルギーだけでなく、下郷農協のたまごは大丈夫」と上野さまのご家族から伺いました。
本当にありがたいことです。
これからも安心・安全な商品を届けさせて頂きます。
宜しくお願い致します。



読者プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。当選者のお名前は次号で発表させていただきます。

応募締切は二〇一五年十二月十日(必着)です。

- クイズのこたえ の数字
 - 住所・氏名・電話番号
 - 下郷農協へのご意見ご要望
 - 下郷農協の商品で好きなもの以上をご記入の上、ハガキの方は
〒八七一一〇四三三
大分県中津市耶馬溪町大字大島二一五一四
下郷農協 企画部 宛
Faxの方は
〇九九一五六一二八八九
- *個人情報他社への開示は一切しませんが当選者のみ紙面で公表させていただきます。

先月のこたえ

(A)・1 (B)・8 (C)・8

当選者

田田市 白石 英己 様

農協商品をお届けします。
おめでとうございます。

数独 (すうどく)

212

《数独のルール》

- タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1から9までの数字が1つずつ入ります。
- 太線で囲まれた3×3のブロック内(マスは9つ)にも1から9までの数字が1つずつ入ります。
- 従って、タテ、ヨコ、ブロック内で、同じ数字が重複して入ることはありません。

解答は次号で

6								8
		9				A		5
			B	2		7		
			6	7		1		
			4	3		9		7
			9		8		6	
		3		6		4		1
			C	3	4		7	
4		5		7		8		6

《先月の解答》

3	8	1	7	9	4	2	5	6	
6	4	2	1	5	8	9	7	3	
7	5	9	2	6	3	8	1	4	
2	6	5	3	4	1	7	9	8	
9	7	4	8	2	6	1	3	5	
8	1	3	9	7	5	4	6	2	
4	9	6	5	8	7	3	2	1	
5	3	7	4	1	2	6	8	9	
A	1	2	8	6	3	9	5	4	7